

## 令和2年度 推薦入試合否判定基準

### 1 選抜の基準

#### (1) 学業成績と勤怠状況

学業成績、勤怠状況が良好で、本校の教育を受けるに足る能力と適性を備えた者を選抜する。

学業成績良好とは

- ① 成績概評の平均が 3.0 以上の者
- ② 学習記録に評定(1)を有しない者

勤怠状況良好とは

- ① 3年間の遅刻が6回以内の者
- ② 3年間の無届け欠課が9回以内の者
- ③ 3年間の無届け欠席が6日以内の者

#### (2) 顕著な実績

ランク付けに関しては、「平成31年度入学生 顕著な実績のランク表」を参照。

#### (3) その他(個性表現及び部活動特別推薦)

申請した実技または志願した競技種目における基礎・基本実技を課す。

### 2 合否判定審査の手順

先に部活動特別推薦の5%の審議をし、その後残りの20%の審議を行う。なお、部活動特別推薦の審議で漏れた志願者は、残りの20%に含めて審議をする。その場合、志願した分野で審議する。

### 3 選抜の方法

- ア 中学校長から提出された推薦入学志願書、調査書、推薦申請書、面接及び実技の結果に基づき推薦入学予定者を決定する。
- イ 面接は、提出された推薦申請書に記載された自己表現、個性表現及び部活動特別推薦の申告内容その他の事項について実施する。

## 令和2年度 一般入試合否判定基準

### 1 選抜の基準

学業成績、勤怠状況が良好で、本校の教育を受けるに足る能力と適性を備えた者を選抜する。

学業成績良好とは

- ① 学習記録に評定(1)を有しない者

勤怠状況良好とは(いずれも無届け・届出含む)

- ① 3年間の遅刻が19回以内の者
- ② 3年間の欠課が29回以内の者
- ③ 3年間の欠席が19日以内の者

### 2 選抜の方法

出身中学校長から提出された調査書、学力検査等の成績及び面接の結果を基にして選抜を行う。選抜は、調査書及び学力検査等の成績を資料として行い、調査書と学力検査等の成績との比重は4.5対5.5とする。